

記 録

岡山県自然保護センターのチョウ類目録への追補

岡山県自然保護センター 難波 靖司

Additions to Butterflies in the Okayama Prefectural
Nature Conservation Center

Yasushi NAMBA, Okayama Prefectural Nature Conservation Center

ABSTRACT

This time, two species, *Tongeia fischeri* and *Neptis philyra*, were confirmed. As a result, 79 species of butterflies were identified to the list.

キーワード：岡山県自然保護センター，チョウ類，蝶類，標本，写真，目録，追補

はじめに

「自然保護センター研究報告 第27号 岡山県自然保護センターのチョウ類の現状（難波，2020）」、「自然保護センター研究報告 第28号 岡山県自然保護センターのチョウ類目録の訂正（難波，2021）」により，岡山県自然保護センターの蝶相の現状を把握し報告したが，その後の情報整理等により，新たな2種が確認されたので報告する。

センターの場所は岡山県の中部の東寄り，吉備高原台地の南端にあたる和気郡和気町田賀にある。森林と大小の二つのため池からなる敷地は約100haにおよぶ。森林はアカマツ林やコナラ等の優占する夏緑広葉樹林が発達している。また敷地内には身近な動植物と触れ合うことのできる「虫の原っぱ」等の観察フィールドの他，国内屈指の規模を誇る人工湿原である「湿生植物園」が整備されている。地質は深層まで風化した花崗岩類であり，表層はいわゆる真砂土に覆われている。位置座標は北緯34°50'55"，東経134°3'20"。標高は約200～300m。年間平均気温は13.3°C，年間降水量は1,328mm（岡山県自然保護センター，2011）であり，気候的には年間を通じて温暖，積雪は年に数回程度，降水量に関しては少雨傾向といえる。

データ整理の方法

センター棟常設展示に使用するため，業務として行っていた昆虫採取と標本作成からの情報，センター一般利用者からの提供情報，職員の撮影した写真情報等の精査による。

結 果

既往報文（難波，2020，2021）により，確認種は5科77種となっていたが，今回，クロツバメシジミ（シジミチョウ科），ミスジチョウ（タテハチョウ科）の2種が追加確認された。

これらの結果，岡山県自然保護センターのチョウ類目録は，下表のとおり，2種増の5科79種となった。

表1. 科別確認種数の推移

科 名	確 認 種 数	
	難波(2021)	今回の結果
セセリチョウ科	10	10
アゲハチョウ科	9	9
シロチョウ科	6	6
シジミチョウ科	20	21
タテハチョウ科	32	33
5科	77種	79種

考 察

1. 確認状況

(1) クロツバメシジミ (シジミチョウ科)

[2021/6/25]：一般利用者である河西久男氏からの情報提供により、センター棟周囲の石垣で2個体が観察された。

[2021/6/25～30]：その後、数個体が6月末まで観察された。

[2021/8/30～11/19]：盛夏を過ぎた8月末に新鮮な約5個体が活発に活動している様子が観察された。これらは数を減らしながら11月まで観察された。10月下旬以降は数個体、11月中旬では1個体となっていた。

[2020/7/27]：なお河西氏の情報提供に基づき、当期のクロツバメシジミの生息が確認されたが、いつ頃から生息していたのが疑問であり、以前のツバメシジミ等の撮影写真に誤認がないか再確認を行ったところ、2020/7/27撮影画像の中からクロツバメシジミが確認された。

(2) ミスジチョウ (タテハチョウ科)

[2020/6/4]：センター棟常設展示用採取標本からミスジチョウが確認された。標本採取はセンター事業に係る業務上のことであり、採取・同定は越山洋三氏による。

[2021/6/7]：上述のとおり、前年同時期にミスジチョウが確認されたことは明らかであったことに加え、センターには食草であるイロハモミジの植栽木や、同科のウリカエデの自生木があることから、生息の可能性は十分考えられ、ミスジチョウ類目撃時には注意を払うようにしていた。同日、湿生植物園東の谷の平成池近くで撮影したミスジチョウ類の写真画像を確認したところミスジチョウであった。

2. レッドデータ種について

確認種のうち、岡山県版レッドデータブック2020 (2021)、環境省レッドリスト2020 (2020) による指定状況を下表に示した。

表2. 確認種のレッドデータ指定状況

種 名	岡山県 RDB	環境省 RL
クロツバメシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧

1. 追補種について

(1) クロツバメシジミ (シジミチョウ科)

ツメレンゲ等を食草とし、センター棟の周囲の石垣に生息している。

センターにおけるツメレンゲは岡山県内産のものを移入した記録が残っている (岡山県自然保護センター, 1994)。このツメレンゲそのものの生育がセンターでは限定的で、センター外の近郊においての生育も耳にしないことから、本種を食草とする動物が生息しているとは考えてこなかった。

現状としては2020/7/26以降、持続的に生息していることとなるが、岡山県版レッドデータブック2020 (2021) の記載等を見ても、食草から大きく離れることなく生息するようであり、外部からの飛来は考えにくいように思う。

センターの湿生植物園では、八重咲きのリュウキンカが通常の生育範囲から離れた木道沿いに出現した事、白花のハナショウブ類が見られるようになった事等、移入と想定される事例があり、植物に関してはゲリラ的に人為的移入が行われているように思われる。

その他の分類群では、モリアオガエルの卵塊がある日突然確認されるという事例があった。山田 (2015) によると高梁川と吉井川の間の地域では確認されていなかった生物である。

盗掘も移入も現場を押さえない限りは証明できないものであり、明確な事は言えないが、このような人為的行為が軽率に行われている事、またそういった事が疑われる事例がある事自体問題と考えられる。

食草のツメレンゲは岡山県におけるレッドデータ指定はなされていないが、環境省レッドリスト2020 (2020) においては準絶滅危惧に指定されており、センターでは貴重種としての認識の下で注目している。センターでは毎年11月上旬ごろから見事な開花が見られてきたが、2020年には、非常に小さな花茎が1本出ただけでほとんど開花しなかった。次いで2021年には開花は全く見られなかった。被食圧によるものか、マニア採取なのか、そもそも生育環境の悪化なのか、因果関係も含め不明確な事が多いが、クロツバメシジミは

食草のツメレンゲともども注意深く観察していく必要がある。

(2) ミスジチョウ (タテハチョウ科)

センターでは展示棟における昆虫標本の常設展示物が古くなってきていて、将来にわたって閲覧に耐えるものではない心配が生じてきていた。標本については、記録としての価値がある一方、本来に近い様子を閲覧できるという価値も重要である。以上のような経緯から、センターで特徴的に見られる昆虫類を対象に採取と標本作成を、2020年度に越山洋三氏に依頼していた。標本は現在センター棟展示室において常設展示中で、目録は当該研究報告「2020年～2021年の岡山県自然保護センターの昆虫調査(山地, 2022)」に記載される。

この越山氏採取標本がきっかけで、2020、2021年と続けて確認することができたが、これ以外の確認が全くなく情報不足な状態である。今後も引き続き注目していきたい。

謝 辞

センターにおける新規確認種の記録にあたっては、来訪者等からの情報提供が非常に重要で、今回のクロツバメシジミの確認については、河西久男氏からの情報により確認することができた。また今回の報告をまとめるにあたり、確認種の県内における生息状況等について末宗安之氏に助言いただいた。記して謝意を表す。

引用文献

- 環境省, 2019. 環境省レッドリスト2020 (第4次レッドリスト第5回改訂版). <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (2020年12月24日付けダウンロードファイル).
- 国土交通省, 2019. 河川水辺の国勢調査のための生物リスト
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyoo/mizukokuweb/system/DownLoad/List/R01List/R01konchu.xlsx> (2019年11月14日更新ファイル)
- 岡山県自然保護センター, 2011. 岡山県自然保護センターの気象観測資料, 岡山県自然保護センター年報 (20): 41.

岡山県野生動植物調査検討会, 2019. 岡山県野生生物目録2019, 53—255. 岡山県環境文化部自然環境課.

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/722826_6560125_misc.pdf (2021年6月14日更新ファイル).

岡山県野生動植物調査検討会, 2020. 岡山県版レッドデータブック2020動物編, 163—306. 岡山県環境文化部自然環境課. https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/656841_5702293_misc.pdf (2021年6月14日更新ファイル).

難波 靖司, 2020. 岡山県自然保護センターのチョウ類の現状～岡山県自然保護センターチョウ類目録への追補～. 岡山県自然保護センター研究報告 (27): 43—80.

難波 靖司, 2021. 岡山県自然保護センターのチョウ類目録の訂正. 岡山県自然保護センター研究報告 (28): 70—76.

山田 勝, 2015. 岡山県南部におけるモリアオガエル (カエル目アオガエル科) の産卵場所について. 岡山県自然保護センター研究報告 (22): 17—23.

山地 治, 2022. 2020年～2021年の岡山県自然保護センターの昆虫調査. 岡山県自然保護センター研究報告 (29): 1—53.

岡山県自然保護センター チョウ類目録 (追補種のみ)

凡 例：難波 (2020, 2021) により整理された5科77種に未掲載のクロツバメシジミ, ミスジチョウのみ掲載している。分類群の種の学名, 配列は「岡山県野生生物目録2019 (2021)」による。分類群の配列, 目・科の学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」による。種ごとのデータについては, 確認個体数, 雌雄, 撮影年月日, 撮影者名, 標本採取者名, 補足事項の順に記した。

チョウ目 LEPIDOPTERA

シジミチョウ科 Lycaenidae

クロツバメシジミ *Tongeia fischeri*

1 ex., Jul. 27, 2020, 撮影者:難波靖司 (写真1参照); 1 ex., Jun. 25, 2011, 撮影者:難波靖司 (情報提供者:河西久男, 写真2参照).

タテハチョウ科 Nymphalidae

ミスジチョウ *Neptis philyra*

1 ex., Jun. 4, 2020, 標本採取者:越山洋三 (写真3参照); 1 ex., Jun. 7, 2021, 撮影者:難波靖司 (写真4参照).

岡山県自然保護センター チョウ類目録 (追補) 掲載種写真



写真1. クロツバメシジミ(2020年7月27日, 撮影者:難波靖司).



写真2. クロツバメシジミ(2021年6月25日, 情報提供者:河西久男, 撮影者:難波靖司).



写真3. ミスジチョウ(2020年6月4日, 採取・同定者:越山洋三).



写真4. ミスジチョウ(2021年6月7日, 撮影者:難波靖司).